

北限保護林(ツバメの沢保護林)

所在地：磯谷郡蘭越町字三笠

林小班：148林班04小班

面積：3.04ha

指定年月日及び番号 昭和50年10月31日

設定目的

本邦ブナ生育地の最北限で、植物生態学的にも重要な森林で、永久保存する必要がある。

地況

標高：550～620m 方位：NW

傾斜度：25° / 20～35

地形区分：中腹～峰

地質：第三紀凝灰角礫岩

(黒松内層) 土壌：Bd



林況

上層を占める樹種は、ブナ・ミズキ・ダケカンバ・シナノキ・イタヤ等で、下層植物にはオオカメノキが多く、ノリウツギ・シノハシバミ・ヤマウルシ・ヒロバノツリバナ・ミヤマガマツミ・ハナヒリノキ・ホツツジ・ツルツゲ・コヨウラクツツジ・ツルアジサイ・イワガラミ・ツタウルシが生育し、林床にはササが優先している。

ha 当たり本数：150～200本 蓄積：L136m³ (ブナ30%)

樹高：17m 平均直径：26cm

施業の沿革

明治39年模範林として国より譲渡され、明治45年第一次検討案当初より施業外地として現在まで施業されていない。本林は、昭和12年6月28日道有林30周年記念として、永久保存林に指定された経緯があり。

